

入学式

式
辞



新潟国際情報大学
学長 越智 敏夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。学長の越智です。教員としては政治学を教えています。ただ、こうしてはじめお会いするときに言うのもなんですが、僕は大学に入ったとき、研究者になるつもりはまったくありませんでした。そもそも大学を受験したとき、何になりたいのかさえ決めていませんでした。

さらには高校時代にあまり遊びすぎたために大学受験にはすべて失敗し、予備校に通うことになりました。こ

うして自分の人生について何も決めないまま高校を卒業することになりました。ところが人生つて不思議なもので、その予備校の授業でものを考えることの面白さの一端に触れることになります。あ、勉強つておもしろいやんけ、と。

予備校がどういうところかというと「行

つた人にはわかるけれど、行つたことのない人にはまったくわからない」という場所です。もちろん予備校生にとって唯一の目的是大学に合格することなので、それ以外のことは不要なはずです。他のことを考えずにはひたすら勉強せよ、と。ところがこれもまた不思議なもので、ひたすら勉強するためには他のことというか、何のためにこんなことやつてんのか、ということについて触れざるを得ないんですね。

僕ら人間は馬鹿馬とは違うわけで、その行為の目的とか意味、意義について認識しておかないと、それらの行為を実行できません。頭をカラにして勉強しろ、というの無理があるんですよ。勉強って頭を使うことなんで、頭をカラにして頭を使えって

新入生の皆さん、入学おめでとうござい

ます。学長の越智です。教員としては政治

学を教えています。

ただ、こうしてはじめお会いするときに

いうのをなんですが、

僕は大学に入ったとき、研究者になるつもりはまったくありませんでした。そもそも大学を受験したとき、何になりたいのかさえ決めていませんでした。

せんでした。

さらには高校

時代にあまり

遊びすぎたために大学受験にはすべて失

敗し、予備校に通うことになりました。こ

うして自分の人生について何も決めないま

ま高校を卒業することになりました。

ところが人生つて不思議なもので、その

予備校の授業でものを考えることの面白さ

の一端に触れることになります。あ、勉強

つておもしろいやんけ、と。

予備校がどういうところかというと「行

くかもいろいろです。このあたりの実感に

ついてはこのなかに浪人された方もいらっしゃると思いますので、わかる方も多いか

と思います。

僕の場合は圧倒的に講義内容でした。英語でも数学でも世界史でも、それらの教員はどのように点を取るのかというテクニックを教えるよりも、各科目の成り立ちといふか、科目自体のなかにある他の科目との違い、特徴を話し、さらには自分がなぜその専門を選択したのか、ということまで伝えようとしていたように思います。それらのこと、つまりは各科目を勉強することの面白ささえ伝われば、各受験生は勝手に勉強してくれるわけで、そうなると予備校の教員としても楽です。

しかし、おそらくは皆さんもお気づきだと思いますが、ここで問題がひとつ出てきます。なぜそのようなことについて僕は高校時代に気づかなかつたのか、ということです。自分の高校の先生たちの名前のために言つておくと、彼ら／彼女らが手を抜いていたといることではない

と思います。

そして大学という空間はそうした意味や

意義について考える度合いがもつと高くな

ります。先に言つたように予備校の場合は「大学に入る」というわかりやすい目的があ

るのですが、大学の目的というと、とて

もわかりにくくなります。なので大学に入

学するというのは、目的は不明だけれど

も、とにかくそこに入ることを自分で選択

したことです。わかりにくいですね。

それでも皆さんはそういう場所としての大学

に自分の判断で入つたのです。ですから皆

さんは今日から大学で学ぶ目的と意義につ

いて自分で考えなければなりません。そし

てそのことは大学で学ぶことだけではなく

、自分自身の価値や社会の価値について

考えることもあります。そこに大学の授

業の難しさがあります。高校、予備校まで

どの高校に行くかは別にして、とにかく高校に行くのは常識である、みたいな考え方があるけれど、親としてはもう大学落ちたらどうが浪人するというのを自分の判断だつたはずで、親としてはもう大学落ちたんなら就職してもいいよ、ということだつて言えたはずなんですね。ということは予備校に行くというのを百パーセント、自分の判断だつたということになります。そうなるとその場所を自分で選んだという感覚が、どうしても自分自身のしていることの意味を考えさせるんでしうね。なので高校時代と比べて、どうしてもその毎日受けている授業の意味を考えざるをえないのです。

そして大学という空間はそうした意味や意義について考える度合いがもつと高くなります。先に言つたように予備校の場合は「大学に入る」というわかりやすい目的があるのですが、大学の目的というと、とてもわかりにくくなります。なので大学に入学するというのは、目的は不明だけれども、とにかくそこに入ることを自分で選択したことです。わかりにくいですね。

ところが、ものを考えるとはどういうことかを示さざるを得ないんです。ただそれらの示し方はいろいろで、授業中に直接表現する教員もいれば、各科目の講義内容を通じてそれらを示そうとする教員もいるでしょ

う。各予備校生がどちらから影響を受け

と異なり、大学の講義にはどうしても価値の問題が入ってきます。

たとえば「第二次世界大戦はなぜ起きたのか」という問題を考えるにしても、そこには多くの理由が考えられます。ヒトラーが悪かったのか、第一次世界大戦の戦勝国がドイツを賠償問題で追い込んだのが悪かっただのか。他にも無限の要因があるでしょう。それらのなかで何を拾い、何を捨てるのか。何と何が相関関係で、そのなかの因果関係はどれか。

何億、何十億という人が蠢いているなかで錯綜した事象が複合的に起きていくわけです。それらの連関は非常に複雑です。そうした事態を前にして自分自身はそれらの理由、原因として何を選びとるのかという問題です。これは歴史学者のE・H・カーリーが『歴史とは何か』という本のなかで「歴史の連関について考へることは価値判断の

問題である」と書いたとおりです。しかも勝手に選んで良いわけではなくて、説得力をもつものを指摘しなければならない。

ですからそんなときには「第二次世界大戦はフリーメイソンの陰謀だった」みたいなことを言うのは恥ずかしいことです。誰かの陰謀で動くほど世の中は簡単で

自分自身の価値観つくろう

究成果をもとにした授業に触ることによって自分

はあります。したがって陰謀論というの

は問題の単純化どころか、思考の否定です。

こうした問題は戦争のようなものでなくとも、たとえば「明治ブルガリアヨーグルトはなぜ売れたのか」ということでも同じです。その理由は本当に複雑で、現象としては「売れたから売れた」という事実があ

な素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉や、私たちを支え、応援してくれた家族や周りの方々にも心より御礼を申し上げます。

今年の1月1日、能登半島地震があり、

た。これらのことから、情報技術は有用性とともに危険性をはらんでいると考えます。これから時代を担う私たちは膨大な情報の中から正しい情報を的確に検索できる能力を持つことが重要であると感じました。また、chatGPTの出現で生成AI

の洗練という作業をしているうちに自分にもとづいて説得力のある議論を進めていくことがあります。もちろんそれらは本当に大変な作業です。途方にくれるかもしれません。しかし大学という空間にいる人間、つまり教員たちはそのような作業を自

身の価値観をつくっていってください。それが大きさにいえばみずから価値を洗練するということです。そしてそのような価値の洗練という作業をしているうちに自分がすべきことがだんだんわかってくるはずです。自分の将来に関して心配する必要はありません。4年後の皆さんの姿を楽しみにしています。



新入生代表 経営学科
山田 美也子

私の抱負

好奇心と探究心忘れず日々努力

有意義なもの

とするため

に、知的好奇

まだ寒さが残る中、少しずつ春の暖かさを感じる季節になりました。

本日は私たち新入生のために、このよう

多くの人たちの命や生活が奪われる悲しい出来事が起こりました。その被害の把握にインターネット技術やAIが活躍しました。しかし、一方で根拠のない、いわゆるデマ情報がSNSで飛び交い、混乱を引き起こしたり不安を拡大させたりしまし

るだけです。その原因を見つけようとするのは本当に大変ですし、さらにはそれらすべてあとづけの論理です。そんなものが事前にわかるのであれば、世の中の乳製品いろいろですが、それぞれが自分の価値をもとにして学問として説得力のあることを

言い続けてきました。

みなさんは来週からそうした教員の授業を受けることになります。

四年間、彼ら／彼女らの研究成果をもとにした授業に触ることによって自分

分なりに続けてきた人間です。進まない研究にうんざりしつつ、失意と逡巡のなかでなんとか研究を進めているのです。専門はすべてですが、それぞれが自分の価値をもとにして学問として説得力のあることを

言い続けてきました。

歓迎のことば



在学生代表 学友会長
経営学科 中村 了

新任教員紹介



井堂 有子 いどう ゆうこ

国際文化学科 教授

担当科目 異文化理解、世界史(近現代)、
中東・北アフリカ地域論

研究分野 中東地域研究、開発学、食の安全保障

学歴 2005年 オランダ国際社会科学研究所 修士課程修了

2017年 東京大学大学院総合文化研究科 博士課程単位取得退学

2001~12年 中東諸国で調査分析・国際協力の実務に従事後博士課程に復学

2019~2020年 上智大学イスラーム研究センター特別研究員

2020~23年 日本国際問題研究所研究員/東京外国语大学アジア・アフリカ

言語文化研究所ジュニア・フェロー(~24年)



阿部 淑人 あべ よしと

情報システム学科 教授

担当科目 ソフトウェア開発、情報システム設計、情報倫理 など

研究分野 デジタル信号処理、画像認識、
コンピュータグラフィクス など

学歴 1988年 新潟大学大学院工学研究科電子工学専攻修了

1998年 同大学大学院自然科学研究科生産科学専攻後期博士課程修了

1988年4月~2003年3月 大日本印刷生産総合研究所勤務

2003年4月~2023年3月 新潟県工業技術総合研究所勤務

2023年4月~2024年3月 新潟県産業労働部創業・イノベーション推進課勤務



佐藤 恵一 さとう けいいち

情報システム学科 教授

担当科目 情報とコンピューティング、オペレーティング

システム、ネットワークコンピューティング

研究分野 人間情報学、スポーツ科学、教育工学

学歴 1985年3月 日本大学大学院生産工学研究科博士前期課程電気工学専攻修了

2021年3月 公立はこだて未来大学 博士(システム情報科学)

1991年4月~1995年3月 愛知技術短期大学(現在愛知工科大学)

電子工学科専任講師

1995年4月~2023年3月 関谷工業高等専門学校情報工学科

(専任講師→教授)



高井 透 たかい とおる

経営学科 教授

担当科目 経営戦略論、経営学総論

研究分野 中堅・中小企業の経営戦略

学歴 1993年3月 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程修了

1996年4月~1999年3月 桜美林大学経済学部助教授

2000年4月~2002年3月 日本大学商学部助教授

2002年4月~2024年3月 同上

これまで学内
プログラムに参加
のさまざまなブ
ークまで



(国際文化学科 4年)

にいがた観光親善大使に就任

私は「訪れる人と住む人のどちらにも愛される新潟と一緒につくり上げていきたい」という思いで選考会に挑戦し、第14代にいたしました。

約半年間、さまざまコンベンションや行事に参加し、新潟の魅力発信に努めてきました。日々新たな発見や出会いがあり、たくさんの学びを得てまいりました。

勇気を振り絞って挑戦した、にいがた観光親善大使。さらなる活躍を目指し、精一杯努めています。

新入生皆さん、ご入学おめでとうございます。またご父母の皆さんにも、お祝い申し上げます。在学生を代表して歓迎の意を表したいと思います。

皆さんは今回の門出をどのように受け止めているのでしょうか。期待や不安などいろいろ気持ちが渾々としているかもしれません。そこで僭越ながら私から、大学生活をよりよくする上で大切に思うことを二つアドバイスさせていただきます。

自由空間で悔いない大学生活を

交友関係はほとんどつくることができなかつたと思います。大学の友人は社会人になつてからも続きやすいと思います。一生つき合う友人を作れる最後のチャンスかもしれません。

二つ目は「大学は自己責任の塊である」ということです。大学は自由な空間です。髪を染めるのも自由、服装も自由です。授業に遅刻するの

一方で見方を変えると自由な環境というの

は素晴らしいものです。おそらく、多くの人にとって大学が最後の学校生活となることでしょう。ぜひ、自己責任という言葉を念頭に置き、悔いのない学校生活を送つてください。多くのことに挑戦して4年間の学生生活がより良いものになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

が参加しました。

説明会場には企業ごとのブースが設けられ、各企業の特色や募集予定について企業側から説

2025年3月卒業予定者を対象とした学内合同企業説明会が3月13、14日に、本学みずき野キャンパス体育館で開催され、2日間で136の企業・団体が参加しました。

136企業・団体が参加



参加学生からは、「新しく知ることができた企業があり、就活の幅が広がった」「他の合同説明会で聞けなかつた企業の話が聞けてよかったです」などの声が聞かれました。

参考して参考した企業・団体の方々には、本学の学生のために貴重な時間をいただき、心より御礼申し上げます。(キャリア支援課)

学内合同企業説明会

明が行われました。参考した学生は企業の人事担当者の話に熱心に耳を傾け、早期の内定獲得に向けて活動意欲を高めています。

参考した企業の中には、実際に働く本学卒業生の姿を紹介する企業もあり、学生たちは親近感を持ちながら話を聞いていました。普段は得られない先輩たちの声が聞ける、有意義な時間となりました。

4

開學30周年記念

国際学部シノンボウム

新潟でつなぐ日本と世界



ダホー・ジェルバル氏(写真左)と通訳のル・ルーブレンダン氏(写真右)

第1部では、基調講演として、外国の歴史家お二人よりご講演をいたしました。

アルジエ大学元教授、雑誌『N A Q D』編集長ダホー・ジエルバ
ル氏の「都市環境における被植

日本近代史

都市環境

開学30周年記念の国際学部シンポジウム「新潟でつなぐ日本と世界」が3月23日、本学新潟中央キャンパスで開催され、本学教員・学生のほか一般市民60人を含めおよそ100人が参加しました。

第1部 基調講演

都市環境における被植民者の 日本近代史の魅力 A・コードン氏

民者の経験…アルジエリア西部オラン植民地の場合」は、フランス帝国主義からの独立をめざしたアルジエリア解放戦争を経験したジエルバル氏自身の個人史を踏まえた脱植民地化の歴史をたどる内容でした。

アメリカの歴史家で日本の北陸とアジアの関係を200年という長いスパンで描くハーバード大学教授アンドルー・ゴードン氏の「日本近代史の魅力」では、日本近現代史の課題として、「不都合の過去を直視すること・佐渡金山世界遺産申請の問題点」など、今、ここ新潟で考えな



「日本近代史の魅力」のテーマで講演する 　　アンドルー・ゴードン氏

現代史をいかに教えるか

第2部 質疑と報告

第2部では、本学国際学部の教員がコメントーターとして加わって、「基調講演の内容を深める」ためのディスカッションと質疑応答が行わ

ければならない、歴史との向き合いの方について、貴重な示唆を得ることができるました。

本学准教授2氏が研究報告

観点から、本学鈴木俊弘准教授の「ニイガタ、アメリカ・現代史を教える／学ぶことの特殊性と普遍性について」、中村貴准教授の「個人か



駐新潟総領事・
崔為磊さんからの
ビデオメッセージ
のご挨拶をいただいたと
き、漢詩や中国歌の唄唱
などアトラクションを毫
メモ

食に込めた平和の願い 中国総領事館職員と交流

中国総領事館職員と交流

を実感しています。来年度もこのようないくつかの活動が実施されることを期待しています。

このイベントを成功させることができました。

新潟市にある駐新潟支
国総領事館関係者らをよ
招きした「餃子パ

しみ、中国総領事
館のコックさんと
有志の学生たちが
協力して作った水餃子を
食べながら、交流を深め



仁統昌黎志

多文化共生の出会いと学び



インターナショナルスチューデントオーガニゼーションという
部活のパーティー

中
国

私は昨年の9月から約4ヶ月の間、中国・上海の華東師範大学に留学しました。中国語コースから3人の学生が参加しました。

10カ国の留学生と交流

国際文化学科3年 森川 遼

とても楽しむことができました。あつという間の4ヶ月でしたが、語の壁に直面することなど、貴重な体験と一緒に生活することなど、たくさん経験することができました。最後に、今回私たちの派遣留学に携わった皆さま、本当にありがとうございました。

シア、ドイツ、ブラジルなど10カ国の方々がいました。また、年齢層も幅広く、50歳の方もクラスにいました。授業は学生の質問が中心となつて進みました。海外の方はわざわざいらしてきました。自分の英語はまだまだでしたが、そこからはなんとなく心が軽くなったり、留学生同士、現地の学生同士でも、たくさん笑いあえるようになりました。自分の英語はまだましたが、下手なりにも伝えようとする気持ちが大切だと気付くことができました。たたくさんの人の優しさに触れて、前向きな気持ちになることができたので、恩返しでできるようになりました。



クラスメートたちと
(後列右から2番目が森川さん)

令和4年度に再開された派遣留学は、5年度も計画通り実施されました。昨年8月に出発したアメリカ(セントラルミズーリ州立大学)を皮切りに、中国(華東師範大学)、ニュージーランド(ワイカト大学)、韓国(慶熙大学校)の4カ国へ合計31人が飛び立ち、本年2月末までに、貴重な体験をお土産に帰国しました。4月10日に行われた報告会に合わせて誌上レポートをお届けします。

華東師範大学が主催する留学プログラムには、毎年さまざまな国からたくさん的人が参加します。私のクラスには韓国、ラスには韓国、

私はセントラルミズーリ州立大学に4か月間留学しました。最初は英語で自分の意思を伝えることがとても難しかったです。それは、自分の英語の能力不足や自分の自信のなさが原因だったように思います。さらに、周りの留学生が当たり前のよう

に英語を話す姿を見て、自分はなぜもつと英語を勉強してこなかったのだろうと思いました。毎日が曇天のような、なんともやりきれない気持ちでした。それでも、授業を受けたり、パーティーに参加したりする中で、私はたくさんの人と出会いました。日本に留学していった経験のあるアメリカ人、家族でアメリカに移住したメキシコ人、勤

めでいた会社をやめてアメリカに移住したトルコ人などです。言語の違いは習慣の違いで悩むこと、苦しむことはたくさんあつたと思います。しかし、皆、毎日笑顔を絶やさず私にとても親切してくれました。また、英語あまり堪能ではない留学生は積極的にがんばって、英語を上達したいという強い気持ちがありまし

た。そのような人々に影響されて、私もあまり悩まずに英語をしゃべつてみようという気持ちになりました。そこからはなんとなく心が軽くなったり、留学生同士、現地の学生同士でも、たくさん笑いあえるようになりました。自分の英語はまだでしたが、下手なりにも伝えようとする気持ちが大切だと気付くことができました。たたくさんの人の優しさに触れて、前向きな気持ちになることができたので、恩返しでできるようになりました。

最後に、留学の支援をしてくださった先生方、学務課の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。私たちも、留学生の支援をしてくださいました。中国語コースから3人の学生が参加しました。

最後に、留学の支援をしてくださった先生方、学務課の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。留学生の優しさに触れて、前向きな気持ちになることができたので、恩返しでできるようになりました。自分の英語はまだでしたが、下手なりにも伝えようとする気持ちが大切だと気付くことができました。たたくさんの人の優しさに触れて、前向きな気持ちになることができたので、恩返しでできるようになりました。

最後に、留学の支援をしてくださった先生方、学務課の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。留学生の優しさに触れて、前向きな気持ちになることができたので、恩返しでできるようになりました。

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

・(2024年3月7日) "Boosting Speaking Confidence in Japanese EFL Learners: AI Tools and Pedagogical Strategies" presented by SATO, Yasuko and KONTA, Ichi (a 4th-year student in her seminar), Language Education Colloquium (The Institute for Language Education & Research, Seoul National University of Science and Technology in Korea)

謝 凱雲(経営学科・教授)

・(2024年3月6日) 「燕三条における関係人口と起業ダイナミズム」SDGsフォーラム国際連合中間発表会(国立高麗科技大学)

堀川 祐里(国際文化学科・准教授)

・(2024年1月6日) 受賞者講演「生理休暇にこだわった女子学生が戦時期日本の働く女たちに出会う」第18回女性史学賞 授賞式(奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター・オンライン)

3)競争的資金獲得研究

内田 亨(経営学科・教授)

・(2024年4月より新規~2025年3月) 2024年度古泉財團研究費助成金「陸上養殖のビジネスモデルの構築: ローカルにおけるエコを踏まえて」研究代表者: 鹿野菜々香(経営情報学部経営学科3年生)・研究分担者: 内田亨、高井透(2024年度より本学経営学科教員)

謝 凱雲(経営学科・教授)

・(2024年2月より新規~2027年1月) 中央大学経済研究所「現代企業制度研究」研究分担者

4)委員・社会的活動・記事・その他

内田 亨(経営学科・教授)

・(2024年3月11日) 2023年度新潟県経営品質賞審査

梅原 英一(情報システム学科・教授)

・(2024年2月22日) 論文賞の受賞「消費者の紙の出版物、電子出版への意識と行動の分析と利用促進策」(日本印刷学会)

謝 凱雲(経営学科・教授)

・(2023年10月1日より継続~2025年9月30日) 日本危機管理学会 理事(東京)

・(2024年1月1日より新規~2025年12月31日) 高雄師範大学「国語読経教育プロジェクト」国際推進委員(台湾高雄市)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

・(2023年12月14日) NHKラジオニュース「ワールドリポート: 特別首脳会議で来日のカンボジア新首相」でコメント紹介
・(2024年2月26日)『読売新聞』朝刊「カンボジア与党圧勝の見通し 上院選投票」にコメント掲載
・(2024年2月26日)『日本経済新聞』朝刊および電子版「カンボジア上院選、与党圧勝へ独裁体制固まる」にコメント掲載

派遣留学報告

4カ国へ31人が参加

ニュージーランド



ワイカト大学にて(後列右から3番目が佐藤さん)

最も労働したことはリスニングの難しさでした。この国で生まれ育つた人々は、私が今まで学んできたアメリカ英語とは大きく異なる訛りや表現方法を使つていました。ワイカト大学では数多くの留学生を受け入れており、さまざまの人種の学生とペアワーカーなどを行います。それらを聞き取れるようになることも最初の壁のひとつでした。そんな中で、ホストファミリーや現地の学生、先生の手厚いサポートを受け、相手の言いたいことを理解し、大いに間違いを気にせず堂々と話しきれることになりました。

韓国語でしか意思疎通ができない環境に置かれたため、確実に韓国語の話す能力を向上させることができます。また、習った文法を実際に使ってみると、たくさん会話をすることができます。留学でしか味わうことのできない貴重な経験をることができたと思います。



南怡島にてクラスメートたちと(右から3番目が塩原さん)

1)研究論文・図書

梅原 英一(情報システム学科・教授)

- (2024年2月) 「読者調査による紙マンガと電子マンガの嗜好の違い」日本印刷学会誌 第61巻 第1号 (8~14頁)

佐々木 宏之(経営学科・教授)

- (2024年2月) "Is non-synesthetes' B Blue? Grapheme-color association improves non-synesthetes' detection in visual search." Consciousness and Cognition, Elsevier Vol.118 (103632)

謝 葵葉(経営学科・教授)

- (2024年2月) 「燕三条地域における起業ダイナミズム - COVID-19危機をベースにして -」企業研究 第44巻 (175~186頁)
- (2024年3月) 「燕三条における企業家のセンスマーキング形成 - COVID-19危機への対応をベースとして -」危機管理研究 第32巻 (9~19頁)

藤本 直生(国際文化学科・准教授)

- (2024年1月) Naoki Fujimoto-Adamson, John L Adamson, & Mariya Aida Niendorf. "Exploring the supervisors' writing experiences and their effects on undergraduate thesis supervisory practices: A comparison of Japanese and Swedish contexts," Research in Comparative & International Education, Sage Publication Vol.19, No.1 (23-45)

关口 裕子(国際文化学科・教授)

- (2023年11月) 「アナイス・ニンの魂と肉体の実験室——パリ、1930年代」小鳥遊書房 (270頁)

教員の活動 (本人申告による)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

- (2024年2月) 「体制維持に資する選挙機能の多様性とその限界——人民党支配下のカンボジアにおけるコミュニケーション評議会選挙」山田紀彦編著『権威主義体制にとって選挙とは何か——独裁者のジレンマと試行錯誤』ミネルヴァ書房 (117~149頁)

内田 亨(経営学科・教授)

- (2023年9月16日) Remy Magnier-Watanabe, Toru Uchida "Emotional Contagion at Work in Japan Predicated on Familiarity" 国際戦略経営研究会2023年度年次大会 (東京農工大学)
- (2023年11月11日) 「欧洲における水産養殖事業のサステナブルエコモデルの可能性」日本経営品質学会 2023年秋季研究発表大会 (ハリウッド大学院大学)
- (2024年3月6日) 「海の豊かさを守るために、ぶり養殖事業: ニッスイグループ黒瀬水産株式会社の経営学的事例を通して」SDGsフォーラム国際連合中間発表会 (国立高雄科技大学)

小宮山 智志(経営学科・准教授)

- (2024年3月16日~17日) 「検索キーワードの共起分析によるコロナ禍の行動制限が健康意識に与えた影響についての探索的研究」第76回数理社会学会大会 (大阪大学)

佐々木 桐子(経営学科・准教授)

- (2023年12月11日~13日) "Simulation Modeling of a Conceptual Model for Supply Chain Risks in Japan's Automobile Industry." IIAI AAI 2023-Winter Congress (Bali)
- (2024年3月1日) 「サプライチェーンネットワークの途絶に関する概念モデルの構築」日本シミュレーション学会多次元通信網研究会 (中央大学)

つた先生もこのようないいとおっしゃっていました。

今回の留学で私は、苦手意識を持つり族に関してでした。ワイカト大学では英語だけでなく、マオリ語やマオリ族に関する歴史、文化などを学ぶことができます。マオリ族と白人入植者による争いの歴史を聞き、とても驚きました。マオリ族と白人の両者がお互いに尊重して、異文化理解を深めることができました。これから先も留学で学んだことを活かし、より自発的に物事に取り組んでいきたいと思います。

留学中に最も興味を持ったことは、ニュージーランドの先住民であるマオリ族に関する歴史、文化などを学ぶことができました。マオリ族と白人入植者による争いの歴史を聞き、とても驚きました。マオリ族と白人の両者がお互いに尊重して、異文化理解や多文化共生について考え、知識を深めることができました。これから先も留学で学んだことを活かし、より自発的に物事に取り組んでいきたいと思います。

韓国

私たち韓国語コースの学生は、昨年9月から約5ヶ月間、韓国の慶熙大学校に留学しました。長いようで短い5ヶ月間でしたが、毎日充実し、有意義な留学生活を送ることができました。

日韓の歴史に興味わく

国際文化学科 3年 塩原 花奈

かの韓国語でしか意味疎通ができない環境に置かれたため、確実に韓国語の話す能力を向上させることができます。また、習った文法を実際に使ってみると、たくさん会話をすることができます。留学でしか味わうことのできない貴重な経験をできたと思います。

韓国語でしか意味疎通ができない環境に置かれたため、確実に韓国語の話す能力を向上させることができます。また、習った文法を実際に使ってみると、たくさん会話をすることができます。留学でしか味わうことのできない貴重な経験をできたと思います。

とても有意義な時間を過ごすことができました。これからは、さらに韓国語での勉強に励むとともに、韓国と日本の歴史にも関心を向けていきたいです。今回の留学に携わっていただきたい大学の先生方、学務課の方々、留学準備にかけた思いがとうございました。

卒業式



新潟国際情報大学
学長 越智 敏夫

か。サークル活動もさまざまな点で制限されていたことでしょう。学食の椅子の数も減られ、テーブルはアクリル板で仕切られ、友達とおしゃべりしながら食事することもできなかつたと思います。

その後、だんだんと普通の学生生活にもどつていきはしますが、やはりこの4年はあらゆる意味でコロナの4年だったわけです。そして問題はそれが皆さんにとってどういう意味をもつかということです。

この4年、世界全体がコロナを経験してきました。それを皆さんは大学生として経験したのです。大学という場所はものごとを理屈で考える場所です。ですから皆さんはコロナを理屈で考えるという義務を負っているのです。では理屈でものを考えるということはどういうことでしょうか。

たとえばコロナのような現象は非常に複雑です。未知のウイルスが人類を殺戮する。そ

まも進行中で、その終焉の構図はまったく見えないです。

こうした4年間は皆さんにとってどのようなものでしたか。この4年間は私たち教職員にとっても大学とは何かということを考える時間でした。コンパや合宿のないゼミナールを通じて味気ないような気もします。でもゼミナールの本質は酒を飲んだり、仲間と一緒に温泉に入ることではないはずです。オンライン授業にも便利なところがあるのは確かです。とはいえ、ふだんからすべての講義やゼミをオンラインにすればいいのではないかという意見には異を唱えたくなります。こうなるとそもそも教育とは何かという点にまで話はひろがります。

そうした数多くの議論は大学の外にも波及します。コロナのもと、私たちはどのように行動すべきなのか。そもそもコロナに対しても

よりはものを考えることを放棄しているのに近いものです。特に「コロナなんかインフルエンザと一緒に」というような無知蒙昧な意見は、千葉真一と志村けんによつて小学校時代を救われた私のよつた人間にとつて絶対的に許せないものです。ウクライナ戦争にしても、ゼレンスキーや善人、ペーチンが悪人というような二分法で理解したとして、それが戦争を終結させることになるのでしょうか。

こうした愚かな考え方を排除し、ものごとを原因と結果の関係、つまり因果関係として精緻に読み解くことが、ものを理屈で考えるということです。そしてそれらを考えるためにには問題の根源まで、社会の根っこまで考える必要も生じてきます。それをきざに横文字でいうとラジカルな問い合わせと呼びます。大学で学んだことはこの精緻にラジカルにものを考えるということのはずです。それらは細かい作業ですし、難しくて重要な問題ほど、答えがひとつになることはありません。そしてそれらをめぐる社会は時代のなかでつねに変化しつづけます。

西圏、福岡県を対象区域として緊急事態宣言が出され、後に全国47都道府県に拡大されます。本学では教員、職員の協力のもと、授業をオンラインで開講するための準備を進め、なんとか連休前の4月27日にオンライン授業を開始することができました。そのあいだ皆さんはノートパソコンをいきなり渡され、オンライン用のガイダンスはあつたものの、新入生として前期授業はすべてパソコンのディスプレイを見るという行為になりました。

「因」

の感染経路さえわからにくいうえに、症状自体の個体差も大きい。ワクチンの開発にも時間がかかる。そうしたなかでなんらかの対策を講じないと死者はひたすら増大するだけです。暗中模索のなか、人類はなんとかコロナで死ぬ人間を減らそうとしてきました。それらの作業の大変さは、今日、ここにおいでになつている中原市長はじめ、新潟市役所の皆さんのが体験されたとおりです。そしてこの4年間に私たちが経験したもののはコロナだけではありません。皆さんの2年

「因果関係」ラジカルにとらえ
「コロナの4年間」問い合わせよ

これらを経験するとか同時代を生きると
いうことです。ですから皆さんは幸か不幸
か、「私の大学時代はコロナの4年間だつ
た」とおそらく一生言い続けることになる
のです。そしてその経験について、またその
意味について一生考え続けるのです。責任は
もちませんが、それを考えるだけでも生きて
いく目的にはなります。ですから逆説的にい
えば、生きてさえいれば、それでいいので
す。生きているということは自分の過去の経
験についてうだうだと考えることだからで
す。

後悔することもあれば、なかつたことにし
たいこともあると思います。しかしそうした
後悔こそが自我をつくります。永久に後悔し
ていってください。どんな失敗をしても、ど

す。「コロナウイルスは中国政府の陰謀である」「マスクなど役に立たない」「ワクチンは製薬メーカーの金儲けのための陰謀である」などなど。これらは特にネット上で散見される極端な意見ですが、極端な意見というよりもものを考えることを放棄しているのに近いものです。特に「コロナなんかインフルエンザと一緒に」というような無知蒙昧な意見は、千葉真一と志村けんによつて小学校時代を救われた私のような人間にとつて絶対的に許せないものです。ウクライナ戦争にしても、ゼレンスキーや善人、プーチンが悪人というような二分法で理解したとして、それが戦争を終結させることになるのでしょうか。

こうした愚かな考え方を排除し、ものごとを原因と結果の関係つまり因果関係として精緻に読み解くということが、ものを理屈で考えるということです。そしてそれらを考えるためにには問題の根源まで、社会の根っこまで考える必要も生じてきます。それをきざみに横文字でいうとラジカルな問い合わせと呼びます。大学で学んだことはこの精緻にラジカルにものを考えるということのはずです。それらは細かい作業ですし、難しくて重要な問題ほど、答えがひとつになることはありません。そしてそれらをめぐる社会は時代のなかでつねに変化しつづけます。

これらを経験することが同時代を生きるということです。ですから皆さんは幸か不幸か、「私の大学時代はコロナの4年間だった」とおそらくは一生言い続けることになるのです。そしてその経験について、またその意味について一生考え続けるのです。責任はもちませんが、それを考えるだけでも生きていいく目的にはなります。ですから逆説的にいえば、生きてさえいれば、それでいいのです。生きているということは自分の過去の経験についてうだうだと考えることだからです。

んな愚かなことをしても、それらはりっぱな後悔を生みます。だからこそ生きていけるのです。

自分自身のことを言うと、僕も失敗だらけの人生です。あの頃にもどつてやりなおしたいと思うことがあります、自信を持つて言えるのは、あの頃にもどつたとしても絶対に同じことをまたやるだろうということです。

理事長祝辞



学校法人 新潟平成学院
理事長 佐々木 辰弥

自由な学生生活が最も大きな出来事だったのではないか。私自身も自分の人生の中では3年の長きに亘り命の危険を考えさせられたことは初めてでした。未だ収束したわけではなく引き続き注意する必要があります。

皆さん、いよいよ、これから実社会に踏み出します。少子高齢化、物価高、環境問題や自然災害、経済問題や金融不安等、決して安全、安心して暮らせる環境ではないかもしれません。しかし躊躇うことはありません。皆さんには4年間の学びの積み重ねがあります。取り組んできたことを思い出しながら一つひとつ乗り越えてください。

お祝いの挨拶に先立ち、元日の能登半島地震において被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

本日卒業式を迎えた、国際学部114名、経営情報学部181名の皆さん、卒業おめでとうございます。また、今日まで育て・支えてこられた御父母の皆さん、教育、学生支援にご尽力いただいた教職員の皆さんにも併せて感謝とお祝いを申し上げます。

会では、より自分の意思、考えを相手に伝えることが重要です。コミュニケーション力としてゼミナールやキャリアガイダンス等で学修したことと思います。ぜひ実践してください。

私は、昔、社会に出るにあたり大先輩に「背伸びしても様々な人と付き合え」と言われ、また、違った先輩には「身の丈に合つた人生を送れ」とも言われました。振り返ってみると、ケースによってどちらも正しいよ

うか。やり切った満足感、充実感でしょうか。もう少し頑張れたという心残りがあるのでしょか。そして卒業の日を迎えた喜びでしょか。まだ少し学生でいたい、友と別れたくない寂しさでしょうか。様々な思いが走馬灯のように脳裏を駆け巡っている感じでしょか。この4年間を振り返ってみると、オンライン授業からハイブリッド授業、海外留学やゼミ活動、部活動の断念等、コロナ禍による不

人間、そんなに成長しません。

だからこそ、うだうだと考え続けるのです。そしてさきほどから言っているように因果関係の確定はとても困難です。たとえばある学長がある大学について、その大学がもししどいことになつたとき、そのひどい状態はその学長のせいです。そうなつたと言うこともできるでしようし、その学長がいたおかげでその

自由な学生生活が最も大きな出来事だったのではないか。私自身も自分の人生の中では3年の長きに亘り命の危険を考えさせられたことは初めてでした。未だ収束したわけではなく引き続き注意する必要があります。

皆さん、いよいよ、これから実社会に踏み出します。少子高齢化、物価高、環境問題や自然災害、経済問題や金融不安等、決して安全、安心して暮らせる環境ではないかもしれません。しかし躊躇うことはありません。皆さんには4年間の学びの積み重ねがあります。取り組んできたことを思い出しながら一つひとつ乗り越えてください。

そして、もう一つだけ加えさせてください。それは、自らが発信することです。実さ

うに思います。ただ、与えられたことだけをこなす日々を過ごすよりも、自ら発信し、求めて生きるほうが仕事も充実し、人生も豊かになるのは間違いありません。

昨年は日中国交正常化50年を祝う節目の年でもありました。1972年9月29日、田中角栄当時の首相が北京において周恩来当時の中国首相と日中共同声明に署名し国交正常化が実現しましたが、その際の二人の大袈裟ともいえる腕を振り回すような固い握手が強く印象に残っています。そして、「飲水思源」と田中首相に感謝と敬意を伝えました。以後中国の要人が来日すると必ず田中邸を訪れる病床を見舞つたり、亡くなつた後も西山町の生家をお参りしたりと礼を欠くことがありません

中国の要人が来日すると必ず田中邸を訪れる病

床を見舞つたり、亡くなつた後も西山町の生家をお参りしたりと礼を欠くことがありません

う

うです。そうやつてとにかく生きていれば、どんどん自分の価値観も変わっていきます。しかしこの価値観の変動ということも大學が制度として目指しているものです。うだうだと生きて行ってください。死ななければ、それだけでじゅうぶんです。ご健勝を祈ります。

自ら発信 求めて生きよ

研究室を訪ねてみてください。きっと恩師は温かく迎えてくれます。

皆さんご承知の通り、新潟県には大学が、国公立大学7校、私立大学が15校あります。そのうちの10の私立大学で入学者が定員割れとなりました。本学は幸いにも1994(平成6)年以来30年間一度も定員割れすることなく順調に運営がなされてまいりました。これもこれまでの卒業生の各方面での活躍が評価されていることに加え、先生方の熱心な教育・学生支援に高い支持、評価を頂いているものと感謝しているところです。

ただ、国の予測を上回るスピードで進む少子化とコロナ禍の落ちつきによる一極集中への回帰等、地方小規模大学の運営は益々厳しさを増してまいりました。

さらに今、大学、学校法人には社会の厳しい目が向けられているのもご承知の通りです。スポーツ競技中における危険行為、理事長の脱税問題、学生の薬物使用問題等、組織のガバナンス不全、危機管理の甘さによる不祥事が大きな問題となっています。都会のマンモス大学の出来事で我々地方大学とは関係ないと傍観することなく、自らが襟をただしく、危機管理を徹底し、学生をこれら的事情から守ることができます。事故から守ることが私たちの重要な使命です。

これまでの30年を振り返り、これから30年に向けて、皆さんが自慢できる母校で続けることができるよう、教職員一体でこれからも、常に大学改革を進めてまいります。

皆さんの健康と大いなる飛躍をお祈りしょ

卒業にあたって

会いました。それから日々は毎日刺激的なもので、部活動を通してさまざまな音を聞くことができました。

また、新入生歓迎ライブや文化祭でのライブ、卒業ライブなどの活動を行い、時にはライブハウスや万代広場での

カイトと
して新潟
の魅力を
英語で紹
介し交流
することで、実践的な学びを
得ることができました。
ニュージーランドの国立ワ
イカト大学への留学では、さ
まざまな国籍の大学生と交流
し、異文化体験を通して、多
様性を認識することができま

私の大学生活は、多くの新しい経験をし、国際的視野を広げることができた、とても意義のある時間でした。NUTOURISM PROJECTの活動では、新潟港に寄港する外国クルーズ船の

これら
の活動を
通して、
とても有
意義な大
学生活を
送ることができました。これ
から的人生で役立つ経験をた
くさん得ることができまし
た。このような貴重な機会を
与えてくださった教職員の
方々に心よりお礼と感謝を申
し上げます。

した。また、国際学会での論文発表も積極的に行いまして。特に、韓国の学会で出会ったさまざまな学者との共同研究に発展し、自身の卒論研究において国際的な視点を取り入れることができました。

世界を舞台にした学び

国際文化学科
今田
吉

乗り越えた後の達成感

國際文化學科 相澤裕花

大学生生活を振り返ると、長い間だつたように感じます。入学当初、新型コロナウイルスの影響を直接受けました。入学者もなくオンライン授業で始まつたため友人ができる環境にな

く 思い
描いてい
た大学生
活とはか
け離れて
いました。
後期に入り、ようやく新た
な友達や先生、職員の方々に
支えられ、無事卒業すること
ができました。この大学だから
らこそ貴重な経験をすること
ができたと思います。講義や
国際立

りたかつ
た仕事に
就くこと
ができま
した。
社会人となる今、学生生活
で得たものを胸に、頑張つて
いこうと思います。この大学
に入つて良かったと心から思
っています。本当にありがと
うございました。

ゼミ、学会、課外活動、資格試験などさまざまなことに打ち込むことができました。大変なこともありますましたが、乗り越えたあとの達成感は計り知れないものでした。就職活動では、これらの経験が身を結び、や

仲間と切磋琢磨の日々

情報システム学科
西方 尚希

續古文和

五

するな
ど、授業
以外の活
動にも積
極的に参加しました。
さまざまのこと取り組ん
だ中でも、特に力を入れたの
は、新潟の観光を盛り上げる
NUIS TOURISM PROJECTの活動です。外
国人観光客に向けた学生ツア
ーの企画、Instagra

い、一緒に取り組めたことをうれしく思います。

この4年間、本当に充実した時間を過ごすことができました。今まで支えてくださった先生方、職員の方、そして大学で出会えた仲間に感謝の気持ちでいっぱいです。

2

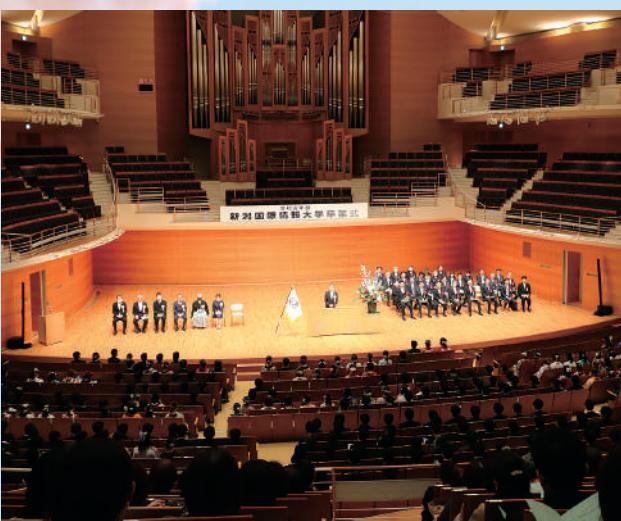
24人にJABEE修了証書授与

JABE認定基準は国際的な技術者教育認定制度に準拠しており、修了生は世界に通用する教育を受けた技術者として認められ、国家資格である技術士の第一次試験が免除される優遇措置が受けられます。

日本技術者教育認定機構（A BEE）に認定されている情報システム技術プログラムの令和5年度修了証書授与式が、卒業式に先立つて新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）で行われ、24名に修了証書が授与されました。

コロナ禍乗り越えた295人門出の春

令和5年度卒業式



第27回までの卒業生は合計7,849人に

年 度	国際文化学科	経営学科	情報システム学科	卒業者数
令和5年度(第27回)	115人	102人	81人	298人

※9月卒業生含む

令和5年度卒業式（第27回）が3月19日、新潟市中央区の芸術文化会館大ホール（りゅーとぴあ）で行われ、295人（国際学部114人、経営情報学部181人）の卒業生が学窓を巢立ちました。

式典では卒業生が一人ずつ名前を呼ばれて起立し、学科代表にそれぞれ学位記が授与されました。続いて越智敏夫学長が式典を述べ、「入学式はいきなり中止、授業もオンライン授業となり、対面授業が始まったのは1年生の後期から。皆さんの大学生活はまさに『コロナの4年間』でした。皆さんはこの因果関係をラジカル

に考え、『コロナの4年間』の意味を一生問い合わせていいってほしい」と呼びかけました。

卒業生特別表彰が行われたあと、卒業生を代表して情報システム学科の堀江直矢さんが「思い描いていた大学生活とは全く異なる日々に不安を感じながら過ごしました。

矢さんが「思い描いていた大学生活とは全く異なる日々に不安を感じながら過ごしていましたが、コロナ禍を乗り越え、友人と支え合いながら学ぶことができたことを自信に、これから的人生を歩んでいきたいと思います」と答辞を述べました。

式典終了後、会場を市内のホテルに移して恒例の卒業祝賀会も5年ぶりに再開されました。真新しいスーツや晴れ着姿の目立つ卒業生たちは、乾杯のあとゼミやサークルの学友、教職員らと会食しながら思い出話しに花を咲かせたり、記念写真を撮ったり、ゲームに興じて別れを惜しんでいました。



学長賞（学業成績優秀者）

SDGs推進団体 Rainbow World Project
国際文化学科

星野 阳

濱島 穂乃花

伊藤 愛里

渡邊 琴音

近藤 佳菜

渡辺 裕翔

国際文化学科
相澤 裕花

堀江 直矢

齋藤 有沙

情報システム学科
軟式野球部

吉田 祥也

江端 航汰

小川 翔平

黒鳥 真翔

田辺 隼人

相澤 裕花

市野瀬 桉花

曾山 日菜子

高橋 彩加

野瀬 歩夢

今田 壱

市野瀬 桉花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳

伊藤 愛里

市野瀬 桉花

今田 壱

相澤 裕花

野瀬 歩夢

齋藤 我生

伊藤 愛里

長澤 歩乃佳